



かぜくも

いわき支援学校

地域支援センター通信 No. 13

H30. 7. 11発行

～地域内の特別支援教育の核として～

地域へつなぐ、チームでつなぐ

日頃より、当センターにご理解、ご協力を賜り誠にありがとうございます。

今年度、県の新規事業「切れ目のない支援体制整備事業」により、県内全ての県立特別支援学校に「地域支援センター」が設置され、また同時に本校15校に「教育支援アドバイザー」が配置されました。

いわき支援学校では、平成26年度に「地域支援センターかぜくも」を立ち上げ今年度で5年目を迎えます。この間、当センターでは来談者の相談を始め、いわき市内の幼稚園、小中学校、高等学校等への出かける支援や研修支援（ミニセミナー）、さらには就学前のお子さんの保護者さんを対象とした早期教育相談（かぜくもひろば）や勉強会（かぜくも教室）などを実施し、地域内の特別支援教育の核としてその機能を果たす役割に努めてきました。

今年度はさらに「教育支援アドバイザー」と連携するなかで、地域や小中学校等のニーズに応じたよりきめ細かな支援が期待されます。

本校教職員のもつ専門性が発揮できる組織・チームをつくり、特別支援教育の経験豊富なスタッフを準備しておりますので、お子様に関することでお困りのことなどがございましたら、どうぞお気軽に当センターまでご連絡をいただければと思います。よろしくお願いいたします。

いわき支援学校長 佐藤 清悦



就学前のお子さんの遊びの場 かぜくもひろば



6月19日（火）に第一回のかぜくもひろばが行われ、就学前の6名のお子さんとその保護者の方々が参加されました。初めての参加が多く、来校すると学校の中を友達と探検してみるお子さんが多数いました。「お集まり」では名前を呼ばれてタンバリンを鳴らしたり、「バスにのって」ではお母さんの膝の上でゆらゆらガタガタを楽しんだりするなど、それぞれ挑戦したり楽しんだりしている様子が見られました。自由遊びの頃には緊張も解け、好きなおもちゃをみつけて遊ぶこともできていました。参加された保護者の方からは「いろいろなお友達がいる中で楽しく参加することができ、とても良い刺激になりました。」「先生方が一人一人付いてくれるので、安心して過ごせました。」などのご感想をいただきました。



就学前の保護者さんの学校見学会

5月24日に学校見学会が行われ、就学前のお子さん（年長児）の保護者さんと療育機関のスタッフなど42名の方が来校されました。

初めに本校教務主任より学校の概要について、続いて地域支援センターより「地域支援センターかぜくも」と「就学までの流れ」について説明が行われました。

その後2つのグループに分かれて、小学部では主に運動会に向けた生活単元学習、中学部ではスポーツフェスティバルに向けた生活単元学習、高等部では作業学習の様子を見学していただきました。

参観された皆さんは、支援学校で行われている授業の様子を熱心に参観されていました。

✿✿✿✿✿✿✿ 「子どものやる気を引き出す言葉掛け」 ✿✿✿✿✿✿✿

子どもが安心し、自尊感情が高まる対応として著書の中で、平山氏は以下の5つを挙げています。

「①見つめる」「②ほほ笑む」「③話しかける」「④ほめる」「⑤触れる」

自分の娘や息子に対して、はたして、自分はこのような対応をしているのかと自身の反省も含めて書きました。皆さんはどうでしょうか。また、著書の中で、子どもが安定する言葉掛けとして以下7つの言葉掛けを紹介しています。

1 「そうなんだ」「そう」を使う。

- 子どもが否定語を使ったときは、「そんなことを言っははいけません」と言うよりは、「めんどくせえ」などに対して「そう」と言う。「そう」は事実を認める言葉掛けであるため、相手の心を傷つけません。

2 「すてき」「ばっちり」と短いフレーズで元気よくほめる。

- 相手の目を見てしっかりとほめましょう。

3 「すてきだね。○○君」と名前を付けてほめる。

- これも相手をしっかり見て、恥ずかしがらずにほめましょう。

4 「できるようになったね」と成長や達成を実感できるようにほめる。

- 「できない」ではなく、「ここまでできた」という見方をします。

例えば「字が汚い」 → 「ここまで丁寧に書けたね」

「音読をしていない」 → 「読み方はきれいだったね」 など、できたことをほめましょう。



5 「○○したらうれしいな」など期待効果を狙ってほめる。

- 例えば「○○しなさい」という命令口調はNGです。

「役割を与える」ことで、自分が認められているという感覚が生まれます。

6 「(ノートに)書いている、書いている」「いい顔、いい顔」など、にっこりほほ笑んで事実を話題にする。

- 二回繰り返すことで言葉にリズムができ、子どもがかまってもらっているという感じももてるのがポイントです。

7 「高得点主義」

- 「おいしい! 90点」と言えば、たとえ間違っていたとしても、90点なので、間違った感じがしませんよね。

皆さんどうでしょうか。否定的な言葉掛けは、本人の自尊感情を下げるだけでなく、周りの子どもの評価も下げることにつながります。是非、やる気を引き出す言葉掛けを心掛けたいものですね。

(参考文献 平山諭著「満足脳にしてあげればだれもが育つ!」ほおずき書籍)

教頭 加茂

✿✿✿✿✿✿✿ 幼・保・小・中・高校の先生方へ ✿✿✿✿✿✿✿

<研究会セミナーIのご案内>

平支援学校を会場に7月26日(木)に「いわき地区特別支援教育研究会教育セミナーI」が開催されます。午前中は分科会が行われ、本校の地域支援センターの教育支援アドバイザーの鈴木貞安先生による「発達検査の結果を指導に活用しよう」の内容で講義を行います。分科会と午後の全体会の間にいわき市内の特別支援学校の職員による「教育相談会」も合わせて行いますので、お子さんの相談等でご活用ください。ご参加をお待ちしています。

<ミニセミナーのご案内>

小・中・高等学校等の先生方への研修支援として、下記の日程で本校を会場に、ミニセミナーを行います。時間は16:00~16:45です。特別支援教育に関心のある方の参加をお待ちしています。

7月23日(月)「ゆっくり学ぶ子のための国語、算数」講師:本校小学部教諭

8月24日(金)「今から知ろう、一般就労と福祉就労」講師:障害者就業生活支援センター所長 栗村様

10月31日(水)「LD、ADHDの困難さを知ろう」講師:本校小学部教諭

11月21日(水)「子どもの療育と保護者支援」講師:NPO法人わくわくネットいわき 新妻様

お問い合わせ (☎34-3806)